

広報

しおばら

9

2011/SEPTEMBER

No.78

Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

おといとこい

- 2 庄原さとやま博ラストスパート特集
- 8 平成23年度自治振興区活動促進補助金採択事業決定
- 10 庄原市コミュニティ推進事業
- 11 庄原市三楽荘の利用状況
- 12 B級グルメ「庄原焼き」の人気じわり
- 13 市職員募集
- 14 安心・安全な毎日のために
- 15 健康広場「脱メタボ宣言してみませんか？」
- 16 各地でさとやま夏まつり
- 18 市政トピックス
- 20 カメラレポート
- 24 お知らせ

8月27日、28日に行われた庄原よいとこ祭。二日間にわたって、さまざまな催しが目白押しでした。写真は、庄原小学校グラウンドで行われた「うなぎのつかみどり」。参加した子どもたちは水しぶきを上げながら、うなぎを追いかけていました。

みつけ体験・「さい」発見!
庄原さとやま博

2010.10.3 ▶ 2011.11.30

さとやま博も残り3カ月キョロ!!
 まだまだ、楽しいイベントが
 たくさんあるキョロ!!



キョロやまくん

ラストスパート 特集!

昨年10月に開幕した「庄原さとやま博」。
 開幕から11カ月が経過し、閉幕まで残り3カ月となった
 この博覧会を振り返るとともに、次のステップへの道筋を探
 ります。



7月末までに実施された体験メ
 ニューは91種類、開催回数は141回。
 延べ973人が参加しました。この体
 験メニューを中心にした「さとやま博」
 のさまざまな取り組みが、市内への入
 り込み客増へとつながっています。

「庄原さとやま博」 新しい7つの 取り組み

2007年の観光立国推進基本法
 施行から、全国各地で「着地型観光」
 を推進する動きが生まれました。「着
 地型観光」とは、地域が主体となり旅
 行商品を企画して発信し、地域に直
 接観光客を呼び込んで、ご当地性の高
 い観光素材を提供する旅行形態をい

着地型観光の推進役「庄原さとやま博」

い、地域が元気になるための「観光振
 興」となるものです。

市は、地域の魅力を再発見し、磨
 き、発信していく「着地型観光」を積
 極的に推進するきっかけづくりとして
 「庄原さとやま博」を開催していま
 す。

■体験メニューの参加者データ(平成22年秋~23年7月末:居住地別を除く)

●リピート率(満足度)

2回参加	72人
3回参加	28人
4回参加	5人
5回参加	10人
6回以上参加	7人
リピート率 (人数)	16.4% (122人)

※参加者の約8割が女性。6人に1人
 が複数回参加。満足度の高さがうかが
 える。また、4人に1人が50代、2.5
 人に1人が60代以上。

●性別

男性	178人 (21%)
女性	665人 (79%)
有効回答数	843人

●年代別

~19歳	38人 (6%)
20~29歳	29人 (4%)
30~39歳	78人 (12%)
40~49歳	96人 (15%)
50~59歳	161人 (24%)
60歳~	260人 (39%)
有効回答数	662人

好きなことをやって
それが皆さんに喜ばれる
こんなうれしいことはないです



体験メニューを企画実施している

土井 福恵 さん(山内町)
右から2人目

リピーターの声

体験メニューに
なんと10回参加！



花房みどりさん
(三次市、会社員)

体験メニューに参加することが生活の楽しみになっています。

主催者の皆さんがとても自然で、人柄に触れることで活力をいただいています。本当に豊かなものを気付かせてもらい、とても感謝しています。今後も、ぜひ続けてほしいです。



中村 准子さん
(広島市、主婦)

庄原ICを降りた時に目に映る緑の美しさに引かれ、いつも庄原まで足を運んでいます。同じ緑なのに広島とは色の深さが違うので、その瞬間心が洗われるようです。また、さとやま博の講座は内容が良いだけではなく、教えてくださる庄原のお母さんたちの温かい人柄に触れられ、それを楽しみに参加しています。

その

市民連携

市民が行っているさまざまな活動を充実させたり、それぞれの活動を組み合わせたりするなどのコーディネーター役を観光協会連合会が担いながら、広報宣伝などで活動を一緒に盛り上げていきます。

①体験メニュー

体験メニューを実施したいと漠然と考えている人に対して、観光協会連合会が窓口となり、実施へ向けた具体的な相談、広報PR、受付・問い合わせ対応、参加者への連絡など一連の業務を調整しサポート。体験メニュー開発・実施に向け、取り組みやすい環境を整えるよう努めています。

これまで、個人の方40人、22の市民グループ、企業6社が、161種類のメニューを企画実施。多くの市民が参加し、おもてなしの心で観光客との交流を楽しんでいます。

このほか、体験メニューを組み込んだ団体旅行の誘致にも力を注いでいます。

体験メニューを組み込んだツアの実施団体例

- オーストラリア学生交流(大根掘り体験、おにぎりづくり、高野中学校との交流会)
- 学校の保護者会、体験学習(牛舎での搾乳見学・えさやり体験、野菜もぎ取り体験など)
- 自治体の視察受け入れ(高野町あつぎ会と農業体験など)

●参加者同行形態

参加形態	体験メニュー	全国(※)
1人	400人(41%)	13.1%
夫婦・カップル・家族	114人(12%)	31.6%
親子(子は小学生以下)	49人(5%)	16.7%
グループ(友人など)	306人(31%)	20.0%
その他	104人(11%)	18.6%

※1人での単独参加がトップ。次いで女性の友人グループによる参加が多い。

※全国的な観光動向に比べ、体験メニューは1人での参加が圧倒的に多い。

※全国=2011じゃらんリサーチセンター調べ

●参加者居住地別(平成22年秋～23年春)

参加者居住地	秋	冬	春	伸び率(秋から春)
市内	56人(30%)	155人(68%)	195人(58%)	348%UP↑
近隣市(三次市など)	20人(11%)	41人(18%)	46人(13%)	230%UP↑
広島市	25人(13%)	11人(5%)	38人(11%)	152%UP↑
広島県内(広島市以外)	6人(3%)	5人(2%)	34人(11%)	567%UP↑
広島県外(岡山、鳥取、香川など)	5人(3%)	0人(0%)	9人(3%)	180%UP↑
海外(オーストラリア)	22人(12%)	0人(0%)	0人(0%)	—
不明	53人(28%)	15人(7%)	13人(4%)	—
合計	187人	227人	335人	179%UP↑

新聞屋さんやカス屋さんが
「ここは時間が惜しくないほど落ち着く」
とってくださるのがとてもうれしい

三上 敏枝さん(西本町)

朝、夫婦二人で庭を散策することに喜びを感じながら、
私たち自身が庭に癒やされています。

② オープンガーデン

しょうばら花会議の主催で今春試験的に実施された「さとやまオープンガーデン」は、4日間で延べ2,357人(実数約600人/一人4庭見学)の見学者を集めました。「さとやまの景観と手作りの庭に癒やされた」「庭主さんとのお話が楽しくてつい長居をしてしまった」など喜びの声が多く寄せられ、高い評価と予想を超える反響がありました。

これは、活動の核となる、しょうばら花会議の会員や庭主、その活動を支える観光協会連合会・庄原商工会議所・国営備北丘陵公園・行政が協働し連携したことによる成功例といえます。この結果を受け、秋のオープンガーデンへの期待も一層膨らんでいます。庭主を順調に増やしている花会議は、庭の紹介や地図を付けたガイドブックなどを作成し、一人でも多くの成功体験を増やそうと意気込んでいます。花会議のメンバー一人一人のご当地愛で、庄原市を元氣付けています。

秋のオープンガーデンはさらに充実



しょうばら花会議
理事長 佐藤 浩子 さん

今秋10月3日から9日にかけて「さとやまオープンガーデン」を開催する予定です。今回は新たに7つの庭が加わり、18庭が見学できることになりました。現在、案内冊子「オープンガーデン

ンガイドブック」の作成やおすすすめコースの設定、タクシー会社や宿泊施設、飲食店との共同企画など、趣味のガーデニングが地域の活性化につながるがばと諸準備を進めています。また、「第2回さとやまガーデニングコンテスト」を9月26日から10月9日まで開催します。オープンガーデンを国営備北丘陵公園の秋まつりの開催期間に合わせて行うことで集客効果を高めたいと考えています。ぜひ、自慢の作品をご応募ください。一緒にオープンガーデンを盛り上げましょう。

③ 着地型バスツアーの運行



さとバスツアー
古瀬戸内海の生態系を探索化石発掘体験のようす

庄原市発着のバスツアー(ツアー代金全額が庄原市の事業者収入)を実施。体験メニューを組み込み、地域の人との交流を目玉にした「ご当地性」の高いバスツアーを企画。

同ツアー参加者へ行ったアンケート調査では「大人も子どもも我を忘れて楽しめた」「めったにできない体験で楽しかった」などと好評。参加した21人中20人が「満足」と答えており、今後の展開への大きな弾みとなっています。



ラストパート
特集!

その2 ニュースペーパーの発行

「庄原さとうやま博」公式ニュー
スペーパーとして、季節ごとに
5万部を発行。
体験メニューの紹介はもちろ
ん、冬のスキー場、
春の桜や山野草、
夏の滝やキャンプ場
の紹介など、季節
に応じた観光情報
を発信し庄原市の
観光ガイドブック
として情報を発信
しています。



この夏、庄原市の
強みである夏の涼
しさを生かし「自然
が生み出すeco涼
を求めて庄原へ」をキャッチフレーズに、
避暑地のイメージを打ち出す夏の新
観光キャンペーンが展開されました。
併せてフリーアナウンサーの岡佳奈
さんとフリーリポーターの井上恵津子
さんを「庄原山ガール」として起用。庄
原の山の魅力をeco涼キャンペーンと
合わせて発信しています。

その3

イメージキャンペーンの展開



eco涼PRイベントとして、8月
28日にひろしま県民の森で開催した
「山フェスしゅうばら2011」と9
月10日に吾妻山で開催予定の「山
ヨガ体験」も企画しました。
ぜひ、庄原の山に出かけて楽しん
でください。



庄原市観光協会連合会
井村 光江 さん

庄原の涼を楽しんで



この夏、庄原の涼しさを体
感しました。山ガールとし
てもっともっと庄原のこ
とを知って、どんどんPRし
ていきたいと思っています。

しょうばら山ガール
フリーリポーター
井上 恵津子 さん



新聞・テレビへの情報提供と取材の対応

その4

庄原市の魅力をさらに取り上げてもらえるよう、小まめな情報提供と取材対応に努めていきます。

庄原さとやま博で行うイベントや体験メニューなどの情報をメディアに対して発信。
庄原さとやま博開幕からこれまでの約1年間で、約60件のテレビ取材を受け、各局の番組で放送されました。



テレビ各局が取材



その5

ケーブルテレビの番組制作、動画配信

※番組は動画投稿サイト「YouTube(ユーチューブ)」でご覧になれます。
<http://www.youtube.com/user/KIYOYUZO>

番組の制作は、観光協会連合会の職員が行い、映像制作会社に依頼する場合の約4分の1の経費で番組を製作しています。

1回5分間の番組を1週間で20回、三次市内の視聴者1万3千200世帯向け、庄原市の観光スポットと庄原さとやま博の体験メニュー、イベントなどを紹介しています。番組内では地域の人が番組出演し、自ら地域の魅力を発信しています。

6月から、三次ケーブルテレビジョン(三次市)で庄原市の魅力を発信する情報番組「みつけ体験・再発見庄原さとやま巡り」の放送が開始されました。



庄原市観光協会連合会 企画員
吉川 理恵 さん

リピーターの獲得が大きな鍵になる

新たな観光客を獲得し、二人でも多くの市民がおもてなしの心で観光客との交流を楽しみ、リピーターにつなげていく。これが今後の観光振興の大きな鍵になると思います。

これら7つの新しい取り組みは、PDCAサイクルと呼ばれる考え方に基いて行っています。
「計画(Plan)を立てて実施(Do)し、結果を検証(Check)し、改善(Act)する」、このサイクルを繰り返すことで宿泊を伴う観光客の増加、観光消費額増加という目的の達成を目指すというものです。まずは、日帰りの観光客を増やすことを近い目標に掲げ、段階ごとの目標をクリアしながら、らせん階段を上るように最終の目的である宿泊を伴う観光客の増加を目指します。

秋のさとやまイベント情報!

10月 9 日	備北ビックバンドフェスティバル音楽と花火の響演	国営備北丘陵公園
10月10日	わいわいフェスタ	口和自治振興センター
10月15・16日	さとやま手作りアートフェスタ	国営備北丘陵公園
10月16日	西城ふるさと祭	西城球技場
10月16日	ふれあい東城まつり	東城小学校
10月16日	比和やまびこ祭	比和総合運動公園
10月22・23日	総領おいでん祭・庄原「みのりの祭典'21」	田総の里スポーツ公園
11月 3 日	お通り	東城町市街地
11月 6 日	帝釈もみじまつり	帝釈自治振興センター
11月20日	帝釈峡近郷神楽競演大会	東城老人福祉センター

見てよし、
食べてよし、
庄原の秋を存分に
楽しもう!





その6

新しいイベントのカタチを提案

少子高齢化が進む庄原市では、今後、従来のような総合型の大型イベントを実施することがますます難しくなると予想されるなか、将来を見据えた、新しいイベントの実施形態を探ろうと模索。

主催者が、少ない予算と負担で魅力的なイベントを展開する1つの方法として、地域の人のそれぞれの強みを生かしながら、1つのテーマの下にさまざまな機関や団体が集まって作るイベン

ト形態を提案しています。
春と秋に、農事体験や座談会、写真展など連続した企画を「古式の農事」というテーマを切り口に開催。さとうまの文化の魅力を多角的に掘り下げています。



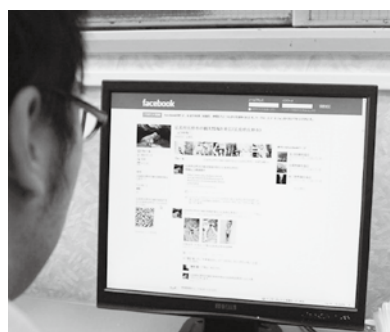
その7

インターネットの活用

庄原さとやま博専用のホームページを立ち上げ、関連情報を取りまとめて発信しています。

また、今ビジネス界で注目のビジネスツール、ソーシャルネットワークキングサービス(SNS)の「フェイスブック」を活用して、庄原市の観光情報を配信しています。

ページ上で「いいね!」ボタンを押してもらう(ファンになって



もらう)ことで、継続的な関係を構築することが出来ます。

※フェイスブック・・・世界中に5億人を超えるユーザーを持つ世界最大のSNS。インターネット上で交流の場を構築する(提供する)サービス。

庄原さとやま博は始まりの鐘



庄原市観光協会連合会 会長

塩本 誠二さん

さとやま博は「みつける、再発見する」というのが大きなテーマでした。あるものを生かすということは、魅力を掘り起こすことです。私たちが気づいていない魅力を発見し、それが大切なものであると認識する、そういうものをみんなで見つけてきました。そこから、さとやまの魅力が詰まった多くの体験メニューが生まれたこと。これが一つの大きな成果です。

ただ、これをこのままにして閉幕と同時に終わらせてはいけません。生まれてきたものを今後どのように生かしていくのか。「さとやま博」の名前は消えても、見つけたものをちゃんと発信して継続し、磨きをかけていく。そういう仕組みを作ることがわれわれの一番の仕事だと思っています。「さとやま

博」は「過性のイベントではなく、これからも育っていくものだと思います。最終的には、面白くて楽しい町、住んでみたい町、につなげていくこと。それには、これからはとても大切だと思います。

「さとやま博」がきっかけで、庄原のファンがたくさんできてきました。実は、身近にも庄原へ移り住もうかという人も現れました。これが庄原市にとって大きな財産であり、最も大きな成果だと思います。

さらに交流を通して庄原のファンが増えるよう、市民の皆さんのより一層の活躍を期待しています。

さとやま博に関する情報は、公式ニュースペーパーなどのほかホームページなどで入手できます。

●フェイスブック

ヤフーやグーグルなどの情報検索サイトで「フェイスブック 庄原市観光情報」と入力すると、サイトが表示され閲覧できます。

●ホームページ <http://shobara-satoyama.jp>

●ユーチューブ <http://www.youtube.com/user/KIYOYUZO>

さとやま博に関するお問い合わせは、庄原市観光協会連合会(☎0824-75-0173)まで。

地域の特色ある 19 事業を採択

平成 23 年度自治振興区 活動促進補助金事業

自治振興課自治振興係
☎0824-73-1209

自治振興区が実施する地域課題の解決や地域づくり活動などを支援する「自治振興区活動促進補助金」の平成 23 年度採択事業が決定しました。

本年度は、13 自治振興区、19 事業が採択となりました。

事業は、地域の将来像や地域課題の解決に向けた取り組みなどをまとめた「地域振興計画」に基づき、地域の皆さんが創意工夫を図り実施するものです。

本年度も、地域の特色を活かした事業が展開されます。

多くの自治振興区がこの事業を利用し、「地域の夢をカタチに」してきました。今後も「夢」の実現に向けて、取り組みられることに期待します。

平成 23 年度自治振興区活動促進補助金採択事業一覧表

(単位：円)

地域	自治振興区	事業名	事業概要	補助金交付額
庄原	庄原自治振興区	堀井城整備事業	広島県でも珍しい築城当時の土塁が残る堀井城を地域で保存していくことで、地域への愛着を高める。	242,000
		交流広場整備事業	地域活動拠点である集会所に備品を整備し、健康教室、生活安全講習会などの活動を拡充することにより、地域の高齢者の情報交換、意思疎通を図る。	277,000
	高自治振興区	ふるさとの里山ふれあい事業	歴史的に慣れ親しんできた里山で自生する樹木にネームプレートを設置し、名前の由来や利用方法などを再認識する場の整備を図る。	690,000
	本村自治振興区	草刈り応援隊事業	大型トラクターに取り付け可能な草刈機を購入し、住民の草刈り作業、経費の軽減を図り、地域の環境整備を行う。	819,000
		多目的屋外休憩施設整備事業	自治振興センターのグラウンドに屋外イベント休憩施設を建設し、地区住民の活動、交流の場を充実させ、住民の親睦と活動意欲の高揚を図る。	1,276,000
	峰田自治振興区	里山公園づくり事業	里山を楽しみ、里山に学ぶ交流拠点として「山の遊び場」を整備し、世代間交流を軸に、地域の多縁を再生し、地域力アップを図る。	1,092,000
		花の風景づくり事業	美しいさとやま景観の向上を図り、地域住民同士のつながり合いをより深めるため、生活道沿いの水仙の植栽を充実させる。	268,000
	東自治振興区	見守り隊ステッカー作成事業	安全見守り活動のステッカーを作成し、地域住民の交通手段である車へ貼ることにより、安全、防犯意識の向上と犯罪防止に貢献する。	200,000
	敷信自治振興区	敷信定住促進事業	地域出身者への定期的な情報発信やふるさと祭りへの呼びかけを行い、定住のきっかけをつくる。	184,000
西城	グリーンピア大佐村	村づくり拠点整備事業	地域活動拠点である集会所の調理室および事務室を改修し備品を整え、福祉活動、研修活動の充実を図るとともに、避難場所としての機能強化を図る。	1,271,000
東城	上町自治振興区	人が集い人が輝くオンリーワンの上町事業	昨年度に続く「三楽荘」門前町にぎわい事業パートⅡとして、おもてなしに必要な備品整備およびガイド教養研修を実施する。	429,000
	下町自治振興区	防災意識の高揚と自然災害対策事業	各世帯ごとの非常時持出袋を配布し、避難広報用のハンドメガホン、トランシーバーなどを整備し、防災意識を高揚させ、自然災害に備える。	422,000
	久代自治振興区	ためしげ福寿草の里整備事業	長年整備してきた「ためしげ福寿草の里」の福寿草を、猪などの有害鳥獣から守るための防護柵を設置する。	511,000
		ふるさと産品加工所施設整備事業	昨年度から整備を進めている農産物加工所「久代はなみずき」に「きねつき餅」が生産できるよう、もちつき機ほかを整備する。	3,000,000
口和	口和自治振興区	金田さくら公園 21 グラウンドゴルフ場拡張整備事業	既存のグラウンドゴルフ場に、新たに 1 コースを整備する。また、案内看板の設置やパンフレットを作成して、施設の PR を行う。	1,251,000
高野	下高自治振興区	葬儀改善事業	下高自治振興センターを葬儀場として提供するための備品を整備し、住民の負担を軽減し、安心して暮らせる住みよい暮らしづくりを推進する。	1,434,000
		自治振興区広報紙の品質充実事業	広報紙作成のための備品を整備し、内容を充実させることで、区民の情報共有、自治振興活動に対する理解を深め、総ぐるみのまちづくりを推進する。	1,028,000
総領	総領自治振興区	セツブンそば そば挽き機等物置整備事業	下領家自治振興会館敷地内に木造平屋建ての物置を、地元ボランティアにより建設し、そばづくり事業の充実を図る。	953,000
		景観美化事業 (スイセン植栽)	7 自治会で地域内の道路および自治振興会館周辺にスイセンを植栽し、植栽、草刈り作業を通じ、地域の連携・美化を図る。	800,000

合 計 16,147,000 円

■審査委員からのメッセージ



審査会長
野原 建一 さん
(広島県立大学名誉教授)

今年もまた各自治振興区から「わが地域」への熱い想いを込めたメッセージが届きました。それは、まちの発展を押し進めようとする熱意にほかなりません。だからこそ、そのすべてを取り入れたいと思いました。皆さんの熱き思いに触れることができ、とてもうれしです。



審査会副会長
長谷川 孝子 さん
(自営業)

申請されたさまざまな取り組みは、日ごろの活動から展開されているものが多く、地域で大切なとても温かいつながりを感じました。今後も若い人たちの参加で、広がりのある活動になることを期待しています。



竹内 瞳 さん
(ひろしま市民活動ネットワークHEART to HEART 事務局長)

自治振興区の皆さんの意義ある活動で、地域の皆さんが「この町に住んどつて良かった!」と言ってくれるようになれば、住んでみたいと思う人や町に興味を持つてくれる人が増え、町も活気づきます。活動を通して地域の皆さんの「声」をたくさん拾い、明日の活動につなげましょう!



上田 正之 さん
(庄原市社会福祉協議会 総合センター長)

各自治振興区の熱い思いを聴くことができ、元気をいただきました。新米審査委員として、仕事柄、人つながり、地域つながり、人の輪が広がっていくものかどうかを基準に審査させていただきます。

地域活性化に向け活発な情報交換 自治振興区活動報告会を開催

市内各自治振興区による自治振興区活動報告会が7月23日、ウイル西城で開催されました。



昨年度採択された庄原市自治振興区活動促進補助金事業(17自治振興区21事業)のうち、4自治振興区が活動内容を発表しました。また、興区活動促進補助金事業(17自治振興区21事業)のうち、4自治振興区が活動内容を発表しました。また、野原建一審査会長は「自治振興区活動はもちろんのこと、さまざまな活動の場面で、市民一人一人が力を発揮し、さらに地域が活性化するように期待している」と講評を述べました。

地域づくりのヒントが見つかる 自治振興関係事業活動報告集を発行

平成22年度の自治振興活動をまとめた「自治振興関係事業活動報告集」を作成しました。

各自治振興区が、地域課題の解決や夢の実現に向けて取り組んだ活動を紹介、各種補助金の活用事例やシンポジウム、ネットワーク講座の内容などを収めた、これからの地域づくりに役立つ資料になる一冊です。

この報告集は、市ホームページのほか、市役所または各支所などでも閲覧できます。

希望者には1部500円で販売していますので、ご希望の方は自治振興課(☎0824-73-1209)または各支所自治振興係までお問い合わせください。



A4版 34ページの報告集

地域に密着した団体を支援します 庄原市コミュニティ推進事業

自治振興課自治振興係 ☎ 0824-73-1209

市は、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を利用し、自治振興区などのコミュニティ組織が地域づくりのために実施する事業に対して助成を行っています。

申請は、毎年、前年度の10月ごろに受け付け、財団法人自治総合センターの助成事業の決定を受けて、その翌年度実施します。10万円単位での補助金になりますので、限度額以内であれば10万円未満の財源負担で事業が可能です。

この事業を活用しようとする団体は、事前に申請準備をお願いします。

なお、申請した事業に対する助成事業の採択は、財団法人自治総合センターが決定します。申請すれば必ず採択されるものではありませんので、ご了承ください。

助成対象団体と 助成事業の種類

コミュニティ組織とは、市がコミュニティ活動を行っていると認める自治会、小集落、自治振興区、自主防災組織などの「地域に密着した団体」とします。特定の課題や目的のために設立された団体は対象外です。



事業の種類・助成額	事業内容	申請先
一般コミュニティ助成事業 【100万円以上250万円以内】	コミュニティ活動に直接必要な設備の整備に要する経費。ただし、建築物、消耗品は対象外。（整備例）除雪機、太鼓、組立式ステージ、いす、テーブル、視聴覚機器、スポーツ用具、コミュニティ公園・広場整備 など	自治振興課 または 各支所自治振興係
コミュニティセンター助成事業 【総事業費の5分の3以内。 1,500万円を上限】	建設本体工事費、付帯設備（電気・空調・衛生など）工事費および同一年度に工事費と一体となった設計管理委託費。	自治振興課 または 各支所自治振興係
地域防災組織育成助成事業 【30万円以上250万円以内】	自主防災組織、婦人消防クラブ、幼年消防クラブなどが行う地域の防災活動に必要な設備または資器材の経費。	危機管理課 または 各支所自治振興係
青少年健全育成助成事業 【30万円以上100万円以内】	主として、小・中学生が参加するスポーツ・レクリエーション活動、文化、学習活動、その他コミュニティ活動のイベントなどに要する経費。ただし、自治総合センターが実施している野球・バレーボール・サッカーは対象外。	女性児童課 または 各支所保健福祉係 （東城支所は福祉係）
問い合わせ 自治振興課自治振興係（☎ 0824-73-1209）または各支所担当室へ		

三楽荘での催しが好評

（庄原市三楽荘の利用状況）

東城支所地域振興室 ☎ 08477-215003

国登録有形文化財の三楽荘が4月1日から開館し、歴史的な建造物として高い評価を受ける中、市内外から多くの人が訪れています。

4千人を超える人が来館

これまで約4千人が来館。建物を見物した人からは「丁寧で工夫された造りで見ていて飽きなかった」「梁などの用材の大きさに驚いた」「大戸やフチヨウ（内側に跳ね上げる形式の板戸）を初めて見た」「懐かしく落ち着いた雰囲気がある」「今日は家族と来館したが、皆にも紹介し次回は友人と訪れたい」などの声が寄せられ、魅力ある観光資源としても評価されはじめています。



町屋コンサート

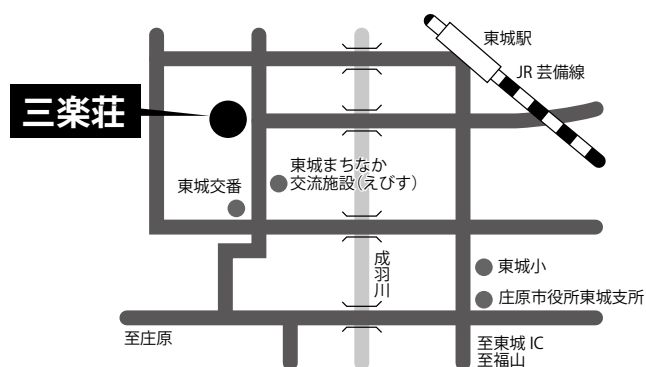
さまざまな市民活動の場に

市民の皆さんが中心になり、伝統文化子ども教室や小学生カメラ講座をはじめ、町屋コンサートや箱庭展なども開かれるなど、市民の文化活動の支援や交流の場として利用されています。

今後も、東城の歴史や文化を知ることができ、資料など展示の充実を図っていきますので、お気軽にお立ち寄りください。

※会場利用を希望される方は、庄原市三楽荘もしくは東城支所地域振興室まで。

- ◆ 開館時間 9時～17時
- ◆ 休館日 火・水・木曜日、年末年始（12月29日～1月3日）
- ◆ 問い合わせ 三楽荘（金・土・日・月曜日のみ）☎ 08477-210457
- 東城支所地域振興室 ☎ 08477-215003



伝統文化子ども教室

庄原焼き

の人気じわり

昨年誕生した
「庄原焼き」
皆さん、食べましたよね？

あの衝撃の誕生から1年が経過。これまで、市内の各好み焼き店舗や商工団体など15の構成団体の協力により設立した「庄原焼きプロジェクト連絡会議」が、庄原焼きの普及活動を行ってきました。庄原オリジナルの好み焼き「庄原焼き」は好評で、市内外に広く認知されるようになってきました。

全国で巻き起こる
B級グルメ旋風

今、全国各地で地域に根付き気軽に楽しめる「B級グルメ」に、熱い視線が注がれています。それを集めて日本一を決めるB級グルメの祭典「B-1グランプリ」。昨年、神奈川県厚木市で開催された第5回大会では、全国から46団体が参加し、2日間で延べ43万5千人が来場するなど大きな話題となりました。ここで注目されたB級グルメ

とにかく庄原を元気にしたい！

「庄原焼き」を求めて
来庄者増

その後、B級グルメブームや前述の準備の効果もあり、新聞や雑誌、テレビなど各メディアで取り上げられると、「庄原焼き」を求めるお客さんが市内に急増。なかには、はるばる北海道や九州から訪れる方もあり、また問い合わせも大幅に増えるなど、着実に「庄原焼き」が広まっています。

「庄原焼き」を
さらに広めたい

「庄原焼き」の更なる普及に向けて庄原焼きプロジェクト連絡会議は、設

が火付け役となり、その地域に多くの観光客を呼び込んで地域を活性化させています。

広島県でも昨年、広島経済同友会観光復興委員会が主催する「第1回広島てっぱんグランプリ」が10月30日、31日の2日間、ひろしまフードフェスティバル中央公園会場で開催され盛り上がりを見せました。県内8地域（団体）が参加し、備北代表として参加した「庄原焼き」が見事準優勝。一気に注目を浴びることになりました。

隊員大募集！

「庄原焼き」をキーワードに、地域づくり、町おこしなどに興味のある方を募集しています。募集条件は、「市内在住または市内に通勤・通学している方」で、「庄原」を盛り上げようと思っている方ならどなたでもOKです。

立から1年を迎えたのを機に「庄原焼きHIROMETA」を結成。庄原焼きをさらに広めるべく、まずはB-1グランプリへの出場を目標に活動を展開していきます。

HIROMETA隊長は語る

根幹にあるのは、とにかく庄原を元気にしたいという思いです。

B-1グランプリに出場となれば、それだけですごい反響があります。それによつて観光客が増えれば、好み焼き店はもちろん、商店街に賑わいも生まれます。そのためにもどんどん庄原焼きを広めていきたいと思います。



庄原焼きHIROMETA
隊長 重信 優 さん

問い合わせ

庄原焼きHIROMETA事務局

(庄原市観光協会連合会内)

☎ 0824-75-0173

<http://shobara-yaki.jp>



第1回広島てっぱんグランプリ表彰式風景

庄原市職員募集

●採用職種、採用予定人員および応募資格

職 種	採用予定人員	応 募 資 格
一 般 事 務 職	若干名	昭和56年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人
技術職(土木)	若干名	
保 健 師	若干名	昭和56年4月2日以降に生まれた人で、保健師の資格を有する人または平成24年3月31日までにこの資格を取得する見込みの人
社会福祉士 (事務職)	1人	昭和56年4月2日以降に生まれた人で、社会福祉士の資格を有する人または平成24年3月31日までにこの資格を取得する見込みの人
身体に障害のある人を対象とした 一般事務職	若干名	介護者なしに一般事務職として職務の遂行が可能で、次の項目のいずれにも該当している人 ①昭和56年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人 ②受付期限までに身体障害者手帳の交付を受けている人 ③活字印刷文による出題に対応できる人

※ 1受験者につき1職種しか受験できません。

※ 保健師、社会福祉士は資格を有する人または資格を取得する見込みの人でないと応募できません。もしその資格を、上記表に記載する日までに取得することができない場合は、正式採用される資格を失います。

●申込手続

(1)試験案内・申込書の配布場所

①配布場所

総務課人事秘書係、西城支所・東城支所・地域振興室、口和支所・高野支所・比和支所・総領支所企画調整室

②インターネットの利用

市ホームページ

(<http://www.city.shobara.hiroshima.jp>)に掲載中の試験案内からA4版用紙に印刷してください。

③郵送による請求

総務課人事秘書係

(〒727-8501 庄原市中本町二丁目10番1号)あてに返信用封筒を同封してご請求ください。

○庄原市総務課人事秘書係あての封筒の表には「試験資料請求」と朱書きしてください。

○返信用封筒(角形2号/縦33.2センチ×横24.センチ)にあて先を明記し、120円切手を貼ってください。

(2)提出書類

申込書に必要事項を記入し、添付書類と併せて総務課人事秘書係へ提出してください。

(3)申込締切

9月16日(金)

※郵送の場合は9月16日消印有効

●試験の方法

試験は第1次試験および第2次試験とし、第2次試験は第1次試験の合格者について行います。

【第1次試験】…全職種

試験日

10月16日(日)8時受付開始

試験会場

庄原市ふれあいセンター

(庄原市西本町四丁目5番26号)

試験科目 教養試験、事務適性検査、作文試験、専門試験(技術職(土木)のみ)

【第2次試験】…全職種

試験日、会場、試験内容は、第1次試験合格者通知によりお知らせします。

●採用予定年月日

平成24年4月1日

●問い合わせ

総務課人事秘書係

☎0824-73-1125

※詳しくは、「平成23年度庄原市職員採用試験案内」をご覧ください。

交通死亡事故が多発しています!!

一人一人が、交通ルールへの遵守と正しいマナーの実践に努めてください。

「秋の全国交通安全運動」

9月21日(水)～30日(金)

「交通事故死ゼロを目指す日」

9月30日(金)

7月から8月にかけて、市内で3件の交通死亡事故が発生。極めて憂慮すべき事態になっています。

これから秋の行楽シーズンを迎へ、ご家族などで外出する機会が増えてくると思っています。次のことに注意して交通事故に遭わないように気をつけましょう。

★ドライバーは…

- 飲酒運転は絶対にしない。
- シートベルトやヘルメット、チャイルドシートは必ず着用する。
- スピードは控えめにする。
- 交差点では、一時停止や信号を守り、安全確認を確実に行う。
- 横断歩道では、歩行者を優先通行させる。
- 体調が優れないときは運転を控える。

★自転車利用者は…

- 交差点を通行する時は、一時停止や徐行を行って安全確認を徹底する。
- 暗くなる前に、前照灯を早めに点灯する。
- 傘差し運転などの片手運転はやめる。
- 二人乗りはやめる。

★歩行者は…

- 道路を横断する時は安全を確認してから横断する。
- 夕暮れから夜間は、目立つ服装と反射材を着用する。

1 庄原警察署管内の犯罪発生状況(7月末現在)

年	乗り物盗	車上ねらい	器物損壊	侵入窃盗	万引き	その他	合計
平成22年	4	3	18	11	8	64	108
平成23年	7	14	10	8	18	47	104

今年の特徴は、車上ねらい(車の中から金品を盗む手口)と万引きが急激に増加しています。

車上ねらいの被害に遭わないため、車のドアは確実に施錠し、車内に貴重品を置いたままにしないようにしましょう。



庄原警察署からのお知らせ

2 子どもたちに迫る「無料ゲームサイト」の危険(保護者の皆さんへ)

携帯電話からアクセスできる子どもたちに人気の「無料ゲームサイト」や、自己紹介サイトといった「非出会い系サイト」には、おしゃべり機能(チャット)や友だち検索機能というものがあリ、不特定多数の人と気軽にメール交換ができる「出会い系サイト」と同じような仕組みになっています。

実際に多くの子どもが利用しており、平成20年以降子どもたちが性的被害を受けるきっかけになっています。

子どもたちが被害に遭わないために次のようにしてください。

- 子どもの携帯電話に必ずフィルタリングを付ける
- 子どもと携帯電話の利用ルールを決める
- 利用目的や使い方、利用料金、利用時間(夜の利用時間)を決める
- 携帯電話利用は学校の規則を守る
- ルール違反をしたら使わせない
- 個人情報や悪口は書き込まない
- 困ったときは必ず親に相談する

脱メタボ宣言



東城支所市民生活室
保健師 横山美栄子

特定健診・特定保健指導 脱メタボ宣言 してみませんか？



特定健診・特定保健指導で メタボ予防

メタボリックシンドローム（メタボ）の要因である「内臓脂肪」は、余分にたまる
と高血圧症、脂質異常症、糖尿病などが
起きて動脈硬化が加速し、心臓病、脳卒
中などのリスクを高めてしまいます。この
「内臓脂肪」をチェックし、メタボを改善
するためにやられるのが特定健診・特定
保健指導です。

メタボ改善例を参考にしよう！

特定保健指導では、減量目標とする
体重と腹囲の数値を決め、生活習慣の改
善を「できること」から始めます。

事例1（60代男性） 愛犬と一緒に健康づくり

自営業を営むAさんは、腹囲が増え、
血圧、コレステロール、血糖値が上昇して
いました。

そこで、ラジオ体操と二日30分愛犬と一
緒に散歩を始め、食事は大皿から小皿に
取り分けて食べ過ぎないようにしまし
た。

半年後、3kgやせて腹囲は6cm減少、

血圧も血液検査
の値もすべて正
常値になりました。

「いつまでも元
気で旅行やボラン
ティア活動をした
い」と目を輝かせ
ていました。

半年後



事例2（60代男性） 禁煙と減量で体調改善

農業を営むBさんは、体重と腹囲が
増え、血液中の中性脂肪が上昇していま
した。

ご飯を大盛りから普通盛りにし、野菜
をしっかりと食べて、農作業や腹筋運動な
どで体を動かすようにしました。さらに
一念発起し「禁煙」を実行。

半年後、2kgやせて腹囲は2cm減少し
ました。「体調が良くなった」と喜んでい
ました。

事例3（60代女性） セーターをおしゃれに着こなす

やせてセーターをおしゃれに着こなし
たいと思ったCさん。ゆつくり食べるこ
と腹八分目にする、寝る前の腹筋運動
と二日5000歩以上歩くことを実践。
血圧が高かったため、めん類の汁を残す
など塩分を控えるに取るよう心がけま
した。

半年後、体重が3kg減り、腹囲も4
5cm減少、血圧も正常値になりました。
「体が楽になり、きつかったズボンがはけ
るようになった」と声を弾ませていまし
た。

健診の結果を受け取ったら、生涯の
健康づくりをはじめませんか。

■メタボリックシンドロームの判定基準

腹囲 男性 85cm以上／女性 90cm以上またはBMI 25 以上
+

高血糖……空腹時血糖 110mg/dlまたはHbA1c5.5%以上

脂質異常……中性脂肪 150mg/dl以上かつ／またはHDL コレステロール 40mg/dl未満

高血圧……収縮期血圧 130mmHg 以上かつ／または拡張期血圧値 85mmHg 以上

※腹囲またはBMIに当てはまり、高血糖・脂質異常・高血圧のうち2つ以上該当すると
メタボリックシンドローム、1つ該当するとメタボリックシンドローム予備群です。

喫煙は危険大！

タバコを吸うと血管が収縮して血圧が上がリ、そのほかさまざまな要
因により動脈硬化を促進するので、心臓や脳血管障害の危険が高ま
ります。

禁煙を目指しましょう！

問い合わせ
保健医療課健康推進係
0824-731-1255
高齢者福祉課高齢者福祉係
0824-731-1165
または各支所市民生活室（地域包括
支援センター）まで。



庄原よいこ祭
8/27～28

庄原さとやま夏祭り

市内各地で夏祭りや花火大会が行われ、
多くの人出でにぎわいました。



ヒバゴン郷
どえりゃあ祭
(西城) **8/13**



七夕まつり
inふるさと高野
(高野) **8/6**



8/14
遊夏祭
(東城)



ふるさとの盆踊り花火大会
(比和) **8/15**



業課 農振興

今後の農業経営に期待膨らむ 市の農業後継者育成事業第一期生が初出荷



荷に加えインターネット販売などを行いたい」と意欲満々。現在、畑にはナスやキュウリなどが植え付けられて順調に生育しており、出荷に向けた準備に汗を流しています。

農業後継者育成事業に関するお問い合わせは、農業振興課農業振興係（☎0824-73-1132）まで。

業課 農振興

和牛オリンピック上位入賞を目指して 全国和牛能力共進会対策協議会設立

庄原市第10回全国和牛能力共進会対策協議会の設立総会が7月19日、庄原農業協同組合本所で開催されました。この協議会は、来年10月に長崎県で開催される「第10回全国和牛能力共進会」に向け、同共進会での上位入賞を果たすこと、そのための推進体制の整備することを目的に設立。

この日、県や農協、和牛改良組合など関係者26人が出席し、庄原市を和牛産地として全国にとどろかせるため、関係者が一体となって取り組んでいくことを確認。

今後、市も協議会の一員として、各関係機関と協力連携しながら積極的に取り組みを進めていきます。

治課 自振興

地域力は資源力と人間力 地域おこし講演会

地域力と地域おこしを考える「地域おこし講演会」が7月30日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

当日は、各自治振興区などから164人が集まる中、総務省自治財政局長の椎川忍さんが「地域力創造と地域おこしのヒント」と題し講演。自身の活動経験や具体的事例を交えながら、地域おこしにつながるヒントや協働のまちづくりの手がかりについて熱く語りました。

参加者は「とても参考になった。今

後の地域づくりに生かしたい」と話していました。



講演する椎川自治財政局長



総会のように

市は、市内の農業後継者育成を目的に、新たに農業経営を目指すとうと、市内の農家、農業生産法人、広島県立農業技術大学校で営農研修を受ける方を対象に、研修奨励金を交付する農業後継者育成事業を行っています。

広島市出身の高橋智さん（川手町）は、この制度の二期生として平成21年4月から2年間、広島県立農業技術大学校で学び、卒業後、農業委員会で紹介された川北地域の農地60[㊦]を借り受け、本格的に野菜栽培に取り組んでいます。7月15日には、しょうばらゆめさくら朝どり市に、タイニーシシユ（ミニ白菜）を初出荷しました。

今年5月に認定農業者となった高橋さんは「農業1年生で失敗することも多いが楽しい。市場や産直市への出



パネルディスカッション

会課
福祉
福祉

身近な現場から発達障害を考える
発達障害児支援シンポジウム

市は「保育所における発達障害児への支援」と題したシンポジウムを8月17日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

庄原市障害者支援アドバイザーで文京学院大学の伊藤英夫教授をコーディネーターに、4人のパネリストがそれぞれの立場から発表し、その後意見交換を行いました。

最初に、市社会福祉課の兼森博夫課長が「行政における支援連携の方針」について説明。次に保育所現場から、七塚保育所の古川玲子所長、庄原保育所の輪手賀代子保育士、数信みの

り保育所の永興千草保育士が、各保育所の保育状況や専門職の助言を受けた支援の成果など、感想を交えて報告しました。

会場では、保護者をはじめ、保育教員関係者、民生委員児童委員、福祉事業所関係者など約150人が熱心に聴講。発達障害に対する関心の高まりが伺えました。

参加者からは「行政の組織や役割について知ることができてよかった」「現場の生の声が聞けてよかった」「保育所の取り組みや支援方法を参考にしたい」という意見が多く寄せられました。

伊藤教授は「発達障害は原因が解明されないなかで全国的に増加している。庄原市の取り組みは先進的であり、連携方針に沿った早期発見、適切な支援の取り組みが重要」と話していました。

発達障害児(者)への支援は、市内に専門の療育機関がない、県内でも障害を認定する専門心理士が少ないなど、まだまだ課題があるのが現状です。今後、こうした機会を設け、発達障害への理解促進と、早期発見、適切な支援に努めていきます。

生涯学習
生涯学習

将来を担う若人にエール
平成23年度庄原市成人式



新成人の決意を述べる藤原翼さん

家林家ひろ木さん(本名／沖上比呂志さん)が新成人にエールを送り、落語で会場を盛り上げ、式に

平成23年度庄原市成人式が8月15日、庄原市民会館で開催されました。今年の新成人は、平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生れた市内在住者および庄原市出身者で、270人が出席しました。

はじめに、滝口季彦市長が「皆さんを育てたふるさととの自然や景色、家族や友人のことを忘れないで、強く優しく、たくましく、自らの意思と責任を携えてこれからの人生を歩んでください」と新成人を激励しました。

新成人を代表して、藤原翼さん(西城町)が「支えられる人間から、支える人間として、おのおのが選んだ道を自覚と責任を持ってしっかりと歩み、若さと情熱を持って少しでも周囲の方々や社会にお返ししていきたい」と決意を述べました。



祝賀パーティーを楽しむ新成人

の久しぶりの再会を楽しんでいた。



会場を盛り上げる
林家ひろ木さん

華を添えました。

今回配布されたしおりは、表紙に庄原市の写真家金山一宏さんが撮影した市内の風景写真を使用。中には新成人が中学校3年生だった当時の担任の先生からのメッセージが添えられており、みんな懐かしみながらメッセージを読み返していました。

成人式終了後には、実行委員会主催の祝賀パーティーが行われ、それぞれの近況や思い出を語りながら、友人との



こどもミュージカル&グルメで庄原を猛アピール カープ公式戦で「庄原の日」



REPORT 1



▲グルメコーナーも大人気

プロ野球公式戦
広島カープ対中日ド
ラゴンズが行われ
たマツダスタジアム
で7月31日、「庄原
の日」と銘打ち、庄
原こどもミュージカ
ルの出演と庄原グ

ルメの販売が行われました。

注目の始球式に、こどもミュージカルの東なみさん（東小4年）、清水唯花さん（庄原小5年）、早井すみれさん（口南小3年）が衣装を身に着け登場。試合開始前と5回裏終了時には、子どもたち66人を含む総勢108人が踊りを披露し、10月16日に公演予定の『しらゆき姫』をPRしました。カープのマスコット「スライリー」、庄原さとやま博のキャラクター「キョロやまくん」、中日のマ

スコット「ドアラ」も共演し、球場を楽しく盛り上げました。

出演した子どもたちは「たくさんの人から手拍子もらえ、とてもうれしかった」「広いグラウンドで踊って楽しかった」と喜んでいました。

庄原グルメコーナーは、コンコースで庄原焼きの実演販売のほか、たこ焼き、親鳥の塩焼き、アップルパイ、スムージーを販売し、ほとんどが完売。たくさんのお客さんに庄原のおいしさを届けました。



▲スタジアムの芝生の上でキメポーズ！

核なき世界を誓い犠牲者を悼む 山内原爆犠牲者慰霊祭



REPORT 2

原爆投下直後に臨時病棟が設けられた山内地区で8月6日、山内原爆犠牲者慰霊祭が行われました。

会場となった原爆慰霊碑には多くの折り鶴が飾られ、遺族や地域住民、山内小学校の児童など約100人が参列。原爆の犠牲となり同地区で亡くなった88人の冥福を祈りました。

主催した山内地区社会福祉協議会の菟原元樹会長が追悼の言葉を述べ、参加者は一人一人焼香していました。

慰霊祭終了後には、山内地区原爆被爆者の会主催で平和学習会が開催され、福島県双葉町の森田省一さんが、福島原発事故とその被爆者の実態について講演。参加者は脱原発の思いに共感しながら真剣に耳を傾けていました。



▲追悼の言葉を述べる菟原会長

士気を高め訓練に励む 庄原市消防団夏期教養訓練



REPORT 3

庄原市消防団夏期教養訓練が8月7日、各方面隊で実施され、総勢約700人の団員が参加しました。

この訓練は、消防団員としての教養と規律を高めるために毎年実施されています。

庄原会場の開会式で上原清司団長は「われわれ消防団は、市民の生命、財産を守り、被害を最小限にとどめなければならない。日々の鍛錬に励んでほしい」とあいさつ。

団員は、厳しい暑さの中、庄原消防署員や県委嘱訓練指導員などの指導のもと、各個訓練、部隊訓練、分列行進などに真剣に取り組んでいました。



▲訓練の様子（庄原方面隊）

地域の人を輪を寄せ植えから

しょうばら花会議が講師を派遣



しょうばら花会議が各地域から花と緑の街並みづくりを推進し、美しい景観づくりに貢献しようと、寄せ植え講習会を企画する地域へ講師を派遣する事業に取り組んでいます。

秋国自治会が主催する寄せ植え講習会が行われた7月27日、しょうばら花会議は講師1人を派遣。講師を務めた斎木義伸さんは、参加者7人に寄せ植えのコツや肥料のやり方、枝葉の刈り込み方など、質問に答えながら一つ一つ丁寧に教えていました。

参加者は「とても楽しかった。今日習ったことを早速活

用したい」と声を弾ませていました。

秋国自治会の横山皓治会長は「集落の人が集まって楽しむことが大切。そこから輪を広げていきたい」と話していました。

しょうばら花会議では、ガーデニング、初心者向けの講習会へも講師派遣を行っています。詳しくは、しょうばら花会議事務局(☎0824-73-1178)まで。



▲講習会の様子

国定公園帝釈峡で涼を体感

帝釈峡ウォーク



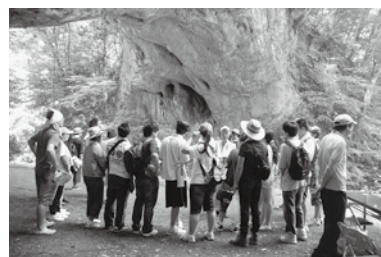
深緑が心地よい国定公園帝釈峡で7月18日、「帝釈峡ウォーク」が開催され、広島県内をはじめ、岡山県や島根県から約160人が参加しました。

午前に行われたウォークでは、帝釈峡まほろばの里を出発し、国史跡「寄倉岩陰遺跡」や鍾乳洞「白雲洞」などを巡り、国天然記念物「雄橋」を折り返す『かわせみコース』と、神龍湖トレイルセンターまでの遊歩道迂回路を歩く『はんざきコース』にそれぞれ分かれ、清流のせせらぎを聞きながら石灰岩が織り出す自然の美しさや、帝釈峡の魅力に触れました。

午後から行われた野外コンサートでは、地元の演奏グループ「プラチナハート」のほか、東城中学校吹奏楽部

や新見ウインドアンサンブルの演奏が行われ、参加者は、芝生広がる広場で一緒にリズムを取ったり、口ずさんだりと楽しいひと時を過ごしました。

福山市から訪れた参加者は「ボランティアガイドの方の説明が分かりやすく、帝釈峡の魅力に触れることができた。また来年も訪れたい」と話していました。



▲ボランティアガイドから説明を受ける参加者

みんなでふるさとを美しく大切に

東城町内の保育所、小・中学校、高校が連携し清掃活動



東城町内の4保育所(小奴可、八幡、田森、東城)、4小学校(小奴可、八幡、粟田、東城)、東城中学校、東城高校が

連携し7月22日、東城町内を一斉に清掃する「東城クリーン大作戦」を実施しました。

清掃は、小奴可、八幡、田森、東城の地区ごとに実施。

東城地区では、保育所の年長から高校生までの約200人が、保育所、小・中学校の縦割りグループ10班に分かれ、東城支所前やJR東城駅周辺などを清掃。植木の下や川辺などに落ちているゴミを40分間拾い集めました。集めたゴミはその後、東城小学校グラウンドで分別作業を行いました。作業中には、中学生が園児と小学生の安全に気を配りながら、「ゴミ袋は重たいから僕が持つよ」などとグループをリードする場面も見られました。

集めたゴミの量を見た子どもたちは「こんなにゴミがあったんだ」「きれいになって気持ちがいい。楽しかった」と話し、達成感を得た表情と流れる汗が光っていました。

森と水の大切さを五感で学ぶ アサヒの森で森林教室

REPORT 7



▲針葉樹の前に説明を聞く児童たち

比和町古頃にあるアサヒの森(甲野村山)で8月4日、「森と水の学習会」が開催されました。

これは、アサヒの森環境保全事務所と広島北部森林管理署が共催して行う事業で、今回で3回目、比和小学校5・6年生の児童26人が参加しました。

はじめに、森林管理署の方から紙芝居を使った森に関する説明を受けた後、山道沿いの樹木などの観察や写

真学習を行いながら約1時間かけて展望台を目指しました。

昼食時には、地元食材を使ったコウタケむすびをほおばりながら、古頃の八川俊治さんから地元食材について話を聞きました。

八川さんはさまざまな草を用意し、「子どものころには自然のおやつとして、カヤの皮をむいて食べていた」と実演。教わったとおりに食べた子どもたちは、初めて味わうカヤの不思議な味に驚いていました。

その後、丸太切り体験や木工教室も行われ、最後に児童代表がクリの木の記念植樹を行いました。

せせらぎとオルゴールの共演 第2回せせらぎコンサート

REPORT 8

クラスターのまちづくり「音の里構想」の一環として7月30日、鮎の里公園で「第2回鮎の里せせらぎコンサート」が開催されました。

今回の奏者は、ギタリストで日本唯一のオルゴール作曲家の橋本勇夫さん、マンドリン奏者の政岡裕子さん、オルゴールオペレーターの世羅瞳さん。

池を利用し光の演出効果を高めた水上ステージに登場した3人は、橋本さんが口和をイメージし作曲した「森に祈る」など12曲を演奏。約250人の来場者はその美しい音色に酔いしれました。

まち実現プロジェクトワークショップ会長の三吉龍次

さんは「この事業を、口和の音を活用した「癒やし空間」と「新たな口和文化」の創造を目指し、喜びと感動を分かち合うことのできる事業として定着させたい」と話しています。

橋本さん作曲の「森に祈る」を収録したオルゴールが、口和町内で9月下旬ごろから販売される予定です。



▲コンサート風景

きれいな西城川を守り続けよう 西城・美古登小学校水辺教室

REPORT 9

庄原市西城地区公衆衛生推進協議会は7月14日、自分たちの町の川に興味を持ち、環境について考えてもらおうと、西城町内の小学生を対象にした水辺教室を開催しました。

この日、午前中は西城小学校6年生の児童13人、午後からは美古登小学校の3～6年生までの児童39人が参加。西城郵便局周辺の西城川に入り、広島県環境保健協会の環境アドバイザーの指導を受けながら、5～6人のグループに別れ網やバケツを使って魚や水生昆虫を採取しました。

その後、すんでいる生き物から川の水質を調べるため、採取した生き物は学校に持ち帰り、参考書で名前を確か

めながら分類。水質を「きれい～大変汚い」までの4段階に評価する記録用紙に記入した結果、「きれいな水」と判定されました。

参加した児童は「身近な川に、自分の知らない多くの生き物がいて驚いた」「ずっときれいな西城川であるように、ゴミ拾いなど努力していきたい」と話していました。



▲夢中で捕まえる児童たち

色鮮やかに舞うオオムラサキ

総領保育園児が観察会

 **REPORT 10**



総領町黒目の和田賢壮さんの自宅で7月4日、総領保育所の園児が国チョウのオオムラサキの観察会を行いました。

当日、小雨が降るあい

にくの天気の中、和田さんがオオムラサキ保護のために作った二棟のビニールハウス「保護センター」に足を踏み入れた子どもたち28人は、エノキの木の葉を勢いよく食べる幼虫や、羽化前のサナギ、大きく羽を広げた成虫などを見つけると、「葉っぱをむしゃむしゃ食べている!」「キレイな色をしている!」などと興奮した様子で目を輝かせていました。

観察会の最後には、一人一匹ずつ成虫をそっと手で包み、「家にも飛んできてね」と言いながらハウスの外へ放しました。

オオムラサキが羽化する季節は6月から7月にかけて。運が良ければサナギからチョウになる姿が見られるそうです。



▲オオムラサキを放つ園児たち

白熱の攻防に声援が響く

高野地域ふれあいソフトバレーボールリーグ戦

 **REPORT 11**

今年で13回目を迎える、地域ふれあいソフトバレーボールリーグ戦が7月27日と8月2日の2日間、高野小学校体育館と町民体育館を会場に開催されました。

今春の自治振興区の再編に伴い自治会となった、町内の10自治会から18チーム約160人が参加、熱戦が繰り広げられました。

体育館内は厳しい蒸し暑さでしたが、選手たちは暑さを忘れ懸命にプレー。珍プレーや好プレーの続出に観客から大きな声援が飛んでいました。

参加者は「普段こうしたスポーツでの交流の機会が少ない。せっかくの機会なので頑張りたい」と大粒の汗を光らせていました。



▲懸命のアタック

電波の適正利用を楽しく学ぶ

比和公民館で電波教室

 **REPORT 12**



▲楽しく学ぶ子どもたち

夏休み中の子どもたちを対象にした電波教室が7月28日、比和公民館で開催されました。

参加した子どもたち11人は、電波適正利用推進委員の皆さんを講師に、身近な電波についてDVDで学習した後、電子ブロックを使って電気の面白さを体験しました。

電子ブロックは電気を楽しく学べる電子機器で、ブロックの配置や種類を変えることで光や音を発するなどの電子実験ができます。電子実験がうまく成功すると子どもたちから驚きや喜びの声が上がりました。また、ラジオコンカーを操作し、混信障害についても学習。目には見えない電波について理解を深めました。

参加した子どもたちは「混信障害が起こることで正確な情報が伝わらず、危険だとわかった」と話していました。

生活相談

身体障害者補装具判定会

「肢体」 9月15日(木)

受付 13時～14時

ところ

広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4-6-1
※1週間前までに社会福祉
課障害者福祉係へ予約を。
☎0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が
相談に応じます。

●庄原地域

とき

9月20日(火)・10月4日(火)

13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター

●西城地域

とき 10月13日(木)

13時30分～16時30分

ところ 西城しあわせ館

●東城地域

とき 10月6日(木)

13時30分～15時30分

ところ

東城ふれあいセンター

●口和地域

とき 9月22日(木)

13時30分～16時30分
ところ ヒューマンライツ

●高野地域

とき 10月12日(水)

13時～16時

ところ 高野支所

●総領地域

とき 10月11日(火)

9時～11時

ところ

総領町健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会

☎0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部こども家庭センター
が子育てに関する相談に応
じます。

●庄原地域

とき 9月15日(木)・10月20日(木)

10時～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター

※1週間前までに女性児童
課子育て支援係へ予約を。

●東城地域

とき 9月16日(金)・10月28日(金)

10時～15時

ところ 東城支所

※1週間前までに東城支所

市民生活室へ予約を。

☎08477-2-5131

障害者相談員定期相談会

◆「庄原地域」

○身体 10月17日(月)

13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター

◆「比和地域」

○身体・知的

10月4日(火)9時30分～12時

ところ

比和自治振興会館

※事前予約もできます。

問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係

☎0824-73-1210

健康相談

広島県北部保健所(三次
市十日市東)で実施する健
康相談です。事前に電話で
ご予約ください。秘密は厳
守します。

○心の健康相談

ストレス、うつ病などの心
の健康に不安のある方やそ
の家族からの相談に応じま
す。

とき 9月20日(火)

13時～14時30分

9月29日(木)

13時30分～14時30分
※29日の会場は東城支所で
す。

○エイズ検査相談

検査は無料・匿名で受けら
れます。結果はその日にお知
らせできます。相談は随時
受け付けています。

とき 9月14日(水)・10月
12日(水)13時～15時

申し込み・問い合わせ

広島県北部保健所保健課

☎0824-63-5181

土地と登記などに関する相談会

農地の転用や登記、そのほ
かさまざまな問題について、
法務局職員、司法書士、行政
書士、土地家屋調査士、農業
委員がご相談に応じます。

とき 10月3日(月)

受付13時～16時

ところ

市役所本庁舎・西城公民館

予約・問い合わせ

農業委員会事務局

☎0824-73-1133

無料法律相談室

とき 10月7日(金)

10時～15時

ところ 三次市文化会館

内容 民事(不動産、登記、

交通事故、金銭関係など)、
家事(相続遺産分割、夫婦・
親子関係、遺言など)につい
て相談を受けます。

問い合わせ

広島地方検察庁三次支部

☎0824-62-2317

催し

第4回人権啓発セミナー

昨年度に引き続き、鹿児島
市の中迎聡子さんをお招き
します。中迎さんは、鹿児島
市に「宅老所いも葉」を開所
し8年余り。これまでに感
じ、学び、考えたことを紹
介いただきます。老いには、
さまざまな「カタチ」があり
ます。人が「老いる」ことにつ
いて真剣に考えるきっかけに
なれば幸いです。

とき

10月13日(木)18時30分～

ところ

庄原市ふれあいセンター

講師

NPO法人こころの館

中迎 聡子さん

演題「老いのイロハ その2」

問い合わせ

総務課行政係

☎0824-73-1123

比和やまびこ祭

中央中国山地の比和で陰陽の文化交流イベントを開催します。山陰から出雲神楽、山陽から下蒲刈獅子舞、広島県警察音楽隊や桜井くみ子(日本レコード大賞新人賞)などのステージショーをはじめ、地元の中学生による広島県無形民俗文化財「比和牛供養田植」や楽しいアトラクションが盛りだくさん。広島牛も肉の丸焼きなど庄原の秋の味覚が味わえます。

とき 10月16日(日)9時～15時

ところ 比和総合運動公園
問い合わせ 比和やまびこ祭実行委員会(比和支所産業建設室内)

☎0824-8513000

ふれあい東城まつり

「ふれあい」をテーマに開催するお祭りです。

東城の特産品を販売するテント村をはじめ、中島ゆきこや、まなみのりさ、自治振興区などのステージ、お楽しみ抽選会や気軽に健康相談などを行える健康広場など誰でも

楽しめる催しが盛りだくさんです。

10月15日には、前夜祭の「ふれあいの夕べ」を開催します。

とき

10月16日(日)9時～16時

ところ

東城小学校グラウンドほか
問い合わせ ふれあい東城まつり実行委員会

☎08477-215003

(東城支所地域振興室内)

総領おいでん祭2011&第11回庄原みのりの祭典²¹

2年に1度の開催、総領町最大のお祭り「総領おいでん祭」。今年は、庄原みのりの祭典との共同開催です。地域の皆さんによるステージ披露や特産品などの出店のほか、一度に二石(150^石)の餅を巨大な杵と臼でつきあげる「世界一の餅つき」(23日)など盛りだくさん。また、恒例

のラジオの公開録音では、22日に山川豊さん、23日に水前寺清子さんをゲストにお迎えする予定です。皆さんのお越しをお待ちしています。

とき 10月22日(土)

11時～15時30分
23日(日)

9時50分～15時30分

ところ

田総の里スポーツ公園

問い合わせ

総領おいでん祭実行委員会

(総領支所産業建設室内)

☎0824-8813065

庄原みのりの祭典²¹実行委員会(JA庄原営農振興課内)

☎0824-7215654

魅惑のサクソス奏者
「佐野博美コンサート」

三年前、年少少女のための音楽鑑賞会で、庄原中学校吹奏楽部ほかの指導に来庄したサクソス奏者「佐野博美」のコンサートを開催します。



佐野博美さん

国立音楽大学クラリネット科を卒業後、これまで岸洋子・松山千春・倍賞千恵子などのコンサートツアーリーダーとして参加、現在に至る。クラシックからジャズ、C

M、アニメ映画、TVドラマなど、レコーディング数は5万曲を数える。また、「ONELOVEコンサート」をはじめとした自主企画やライブ、講演、吹奏楽の指導、作曲、編曲と多方面で活躍中。

当日は、ピアノ(宮澤由衣)とパーカッション(益田和嘉子)の3人で、「ダニーボーイ」や「夜霧よ今夜もあがり」とう」などを演奏予定。

多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

とき 10月1日(土)

14時～(13時30分開場)

ところ 庄原市民会館

入場料 2千円

(当日券2千300円)

高校生以下は無料(要整理券)

※未就学児の入場はご遠慮ください。(要予約の託児サービスがありますのでご利用ください)

前売券発売所

庄原市民会館、ジョイフル、ザビッグ、食彩館ゆめさくら、三次サングリーン、CCプラザ

問い合わせ 庄原市民会館

☎0824-7214242

生涯学習課

☎0824-7311189

桜花杯空手道大会

県内外のスポーツ少年団などで鍛錬を積んだ27団体281人が、組手・形競技で熱い戦いを繰り広げます。

とき 10月2日(日)

9時10分～

ところ 市総合体育館

問い合わせ

生涯学習課スポーツ振興係

☎0824-7311196

※当日は市総合体育館

☎0824-7218000

帝釈峡春夏秋冬写真展

映画やドラマのロケ地に使われる「名勝・帝釈川の谷」の溪谷美を1年間にわたって撮影した作品展です。東城写遊会・庄原写真同好会の皆さんの作品30点を展示します。

●時悠館会場

とき 9月11日(日)～10月2日(日)9時～17時

●ジョイフルNAGAE会場

とき 10月4日(火)～10月17日(月)9時30分～17時

問い合わせ 時悠館

☎08477-610161

広島県立三次高等技術専門校入校生募集

広島県立三次高等技術専門校では、平成24年4月入校の訓練生を募集します。

- 募集定員 各20人
 ■募集科目 自動車整備科……2年 溶接加工科……1年
 建築インテリア科……1年 OAビジネス科……6カ月

- 応募対象者
 第1期選考 平成23年度卒業または卒業見込みの方
 第2期選考 すべての求職者

- 受付期間
 第1期選考 9月15日(木)～10月28日(金)
 第2期選考 平成23年1月5日(木)～2月16日(木)

- 選考日
 第1期 11月15日(火)
 第2期 平成24年2月28日(火)または29日(水)

- 問い合わせ
 広島県立三次高等技術専門校 ☎0824-62-3439
 または最寄りの公共職業安定所

備北酔い処まつり

今年は、辛党・甘党いづれの方も楽しめるイベントとして、お菓子業者が集まり備北の素材をふんだんに盛り込んだ『秋のスイーツパレード』を開催します。

ステージでは、神楽、太鼓、バンド演奏、酒蔵・スイーツクイズなど楽しいイベントが盛り

りだくさん。

フードコーナーでは、庄原・三次のおいしい食が勢ぞろい。備北の秋を楽しみ、味わい、感じてください。

とき 9月18日(日)・19日(月・祝) 10時～16時
 ところ

広島三次ワイナリー
 共通前売り券 1千円(通常料金 1千200円)

広島県立農業技術大学校学生募集

広島県立農業技術大学校では、平成24年4月入学の学生を募集します。

学科および定員	本科 40人程度 園芸課程(野菜・花きコース、落葉果樹コース) 畜産課程(肉用牛コース)
修業年限	2年
入学資格	将来農業に従事しようとする者および農業・農村の担い手を目指す者で、高卒または同等以上の学力のあるもの。
入学試験	①推薦入試 願書受付 9月30日(金)～10月14日(金) 試験月日 10月25日(火) ②一般入試(前期) 願書受付 11月18日(金)～12月9日(金) 試験月日 12月21日(水) ③一般入試(後期) 願書受付 2月17日(金)～3月8日(木) 試験月日 3月15日(木) ④社会人特別入試(前期) 願書受付 10月11日(火)～11月4日(金) 試験月日 11月18日(金) ⑤社会人特別入試(後期) 願書受付 2月17日(金)～3月2日(金) 試験月日 3月19日(月)
問い合わせ	広島県立農業技術大学校教務課 〒727-0003 庄原市是松町 55-1 ☎0824-72-0094

チケット取扱所

備北観光ネットワーク協議会、庄原市観光協会連合会、三次市観光協会、広島三次ワイナリー、庄原三次広島バスセンター

※期間中は無料シャトルバス(三次バスセンター)→J R三次駅 ↓ 会場)を運行します。

※観光パンフレット「備北の

募 集

県民の森イベント参加者募集

●中国山地の自然探訪

県民の森ホテルに宿泊して、比婆山を中心に近郊の山々を訪ねてみましょう。

比婆山山系と道後山

竜王山のススキ、初秋の草花ウオッチング

とき

9月16日(金)・17日(土)

参加費(人当たり)

1泊3食 1万5000円

日帰り 2千円

定員 25人

申し込み・問い合わせ

ひろしま県民の森公園センター

ター

0824-84-2011

※スケジュールなどの詳しい

内容は、申込者に別途ご案内

します。

庄原市美術展覧会作品募集

田園文化センターでは11

月に開催する市美展の作品

を募集します。

出品規定

○市内在住または、市内に

通勤・通学している高校生以

上の方。自己の創作した作

品で未発表のものに限りま

す。

○1種目につき1人1点と

します。

種目

日本画、洋画(水彩、油彩、

「デザイン、版画を含む」、

彫塑、工芸(陶芸、染色、木

工、ちぎり絵、七宝、押花な

ど)、書(漢字、仮名、前衛)、

写真。

※規格は問い合わせください。

申し込み方法

申込書に必要事項を記入

の上、作品の搬入日までに田

園文化センターへ提出してく

ださい。申込書は、田園文化

センター、生涯学習課、各支

所教育室、各自治振興セン

ター・各公民館にあります。

作品搬入日

10月14日(金)・15日(土)

10時～18時

その他

出品後の題名は、変更で

きません。

表彰

優秀な作品を表彰しま

す。表彰式は、11月3日(木)

9時30分から田園文化セン

ターで行います。

展覧会

彫塑／工芸／書

11月3日(木)～7日(月)

【後期展】

日本画／洋画／写真

11月12日(土)～17日(木)

10時～18時

※最終日は、前期後期とも

17時まで ※火曜日は休館

問い合わせ

田園文化センター

0824-72-11159

県立広島大学公開講座

「60歳以上のためのパソコン

講座 会計報告書を作ろう」

地域の高齢者を対象にし

たパソコン講座を開催しま

す。今回は、エクセルの操作を

基礎から学べる講座です。

とき

9月20日(火)～22日(木)

10時40分～12時10分

ところ

県立広島大学庄原キャンパス

対象者 県北在住の概ね60

歳以上で、ウェブメールのアド

レスをお持ちの方。

募集定員

20人

受講料 1千円

講座内容 エクセルの使い方

講師 上水流久彦助教・馬本 勉

教授・奥田 慧

申し込み方法

申込書と80円切手を貼つ

た長形3号返信用封筒を9

月15日(木)必着で郵送して

ください。折り返し、受講票

と受講料納付書をお送り

します。※申込書は広島県

立大学ホームページ(http://

www.pu-hiroshima.ac.jp/)

からダウンロードできます。

申し込み先

〒727-0023

広島県庄原市七塚町562

県立広島大学総務課地域連

携センター担当者 あて

その他

※3回すべて受講された方

には、受講証明書を交付し

ます。

※受講申込に伴う個人情報

は、公開講座以外には使用

しません。

問い合わせ 県立広島大学

庄原地域連携センター

0824-74-1704

総務課

0824-74-1000

みんな笑顔でむかえてほしい、日本の秋。

オ〜タムジャンボ 宝くじ〜!

2011年 新市町村振興宝くじ オータムジャンボ宝くじ

2億5,000万円 売り切れしだい発売終了!

●1等:1億5,000万円/前後賞各5,000万円
●発売期間 9月26日(月)～10月14日(金) ●抽せん日 10月21日(金)

9/26 発売

1枚300円

財団法人広島市町村振興協会

この宝くじの収益金は市町村の暮らしづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

広告 自宅葬儀は、庄原セレモニー葬祭サービスにお任せください

庄原セレモニー 葬祭サービス

国土交通省陸運局 許可 中国自貨第448号

●24時間寝台搬送
●自宅葬儀施工
●会葬品・仕上げ膳

0824-72-1417

●ギフト商品(茶の子・記念品・香典返し・お中元)
●慶弔事料理(法要料理・祝い料理・会議用料理)

(株)高木屋 0120-130-603

その他

●特別障害者手当および障害児福祉手当の支給

●特別障害者手当

対象 身体または精神に著しく重度の障害があるために、日常生活で常時、特別の介護を必要とする状態にある20歳以上の人。(審査あり)

支給額

月額2万6千340円(原爆介護手当との支給調整あり)

※施設へ入所、または3カ月以上入院した場合は、資格が喪失します。(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

●障害児福祉手当

対象 身体または精神に重度の障害があるために、日常生活で常時、特別の介護を必要とする状態にある20歳未満の人。(年金受給者は対象外)

支給額

月額1万4千330円

※施設に入所した場合は、資格が喪失します。(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

《支給月》

いずれの手当も2・5・8・11月に前3カ月分の手当を支給

《手続きに必要なもの》

診断書(指定の用紙)、印鑑、所得状況届、年金・恩給受給額の確認書類、振込先通帳など。
手続き・問い合わせ
社会福祉課障害者福祉係
☎0824-731210
または各支所市民生活室

あっぱれ 庄原

出場大会の各種入賞者を掲載します。(敬称略)

●全国大会

国民体育大会
サッカー競技

(10月2～5日・下関市)

●成年男子の部

山坂 亮

全日本少年少女武道
(銃剣道)練成大会

(8月3日・日本武道館)

●小学校6年生の部 優勝

山崎 隆輝(小奴可小6年)

●中学校女子の部

敢闘賞(第3位)

立川 千裕(東城中2年)

全日本青年銃剣道大会

会

(8月4日・日本武道館)

●女子の部

敢闘賞(第3位)

立川 茜(庄原格致高2年)

●中国大会

国民体育大会中国プロ
ロック大会サッカー競技

(8月20日・22日・岡山市)

●成年男子の部 優勝

山坂 亮

●県大会

広島県高校総合体育
大会(なぎなた競技)

(6月5日・広島市)

●試合の部 第3位

森本真由子(庄原実業高2年)

山口国体広島県予選
大会(なぎなた競技)

(6月19日・広島市)

●少年の部 第3位

森本真由子(庄原実業高2年)

●その他

夏山ワクワクなぎなた
フェスティバル

(8月19～21日・道後山高原)

クロカンパーク体育館)

●基本の部 優勝

稲里 孝美(西城小3年)

●演技競技

小学生低学年の部 第3位

上貝 真帆(西城小3年)

●高校男子の部 優勝

足立 龍邦(庄原格致高2年)

●試合競技

中学生の部 第5位

久保 寛明(西城中1年)

●高校男子の部 準優勝

足立 龍邦(庄原格致高2年)

●一般男子の部 第6位

木村 辰也(西城町)

**一人でも悩まないで
まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等
- 詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

検索

広告

司法書士 飯田 一生

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)

〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナッシュB2階 TEL0824-72-2315

住まいの再生をお考えの方、今すぐクリック！

戸建てリフォーム革命 イベント広島

検索

携帯からは
こちら

65,000棟達成!

新築
もぐり

国土交通大臣許可(特-22)第4638号

住友不動産

新築そっくりさん 広島東営業所

〒739-0011 広島県西条市本町7-29(林ビル1階)
TEL082-431-3525 FAX082-423-1751
http://www.sokkuri3.com/

0120-356-218

FreeDial

国内最大級100品種以上のコスモスが「花の広場」に咲き広がります。一面に咲き広がるコスモスは背の低い(矮性種)ドワーフセンセーション。人気の「チョコレートコス

秋まつりの主役
「コスモス」

秋まつり Autumn Flower Picnic

9月17日(土)～10月16日(日)

期間中は毎日開園!

10月2日(日)と10月9日(日)は無料入園日です
9月19日(祝)は65歳以上の方のみ入園料無料
※駐車料金は別途必要です

問い合わせ 備北公園管理センター

☎ 0824-72-7000 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)

備北丘陵公園 だより



モスをはじめ、花卉の色、形の変化が楽しめます。ぜひご覧ください。

イベント

手軽に楽しめるイベントをたくさん開催。人気の「神楽上演」は7日間開催します! 迫力の舞をお楽しみください。ひばの里の「食体験教室」、「クラフト教室」も楽しめます。手づくりの良さを体感できます。人気の手押しの鉄道「人車」も登場します。10月15日・16日は「たたら鉄づくり」体験を開催、伝統の製鉄技術を紹介します。

みりの里「なし園」の 梨もぎ体験

9月11日(日)、18日(日)、
25日(日)(予定)

今年も「みりの里」に「実りの秋」がやってきます!

なし園では「八雲」「幸水」「二十世紀」などが次々に実ります。旬の恵みをお楽しみください。

とき 13時30分～15時30分

ところ みりの里「なし園」※第6駐車場からすぐ
一人1個限り
定員 先着200人

庄原の魅力を発信! さとやま夢まつり

10月2日(日)

フードフェスティバルや和太鼓、吹奏楽演奏、キッズパフォーマンスなど「庄原の元氣」を発信する地域イベント「さとやま夢まつり」。庄原の食材をふんだんに使ったメニューが人気のフードフェスタも大人気!

ところ 大芝生広場

音楽と花火の響演「備北ビッグバンドフェスティバル」

10月9日(日)

県内屈指のビッグバンド5団体の演奏と打上げ花火1500発を楽しむ音と光の祭典。

※雨天決行

チケット(駐車料金別途
当日16時以降に入園の場合は駐車料金無料)

大人(高校生以上)

1千500円

小人(小・中学生)500円

前売り限定ペアチケット

(大人2枚・小人1人無料)

2千500円

17時～ビッグバンド演奏

20時～花火打ち上げ

ところ 大芝生広場

チケット取扱い

食彩館しょうばらゆめさくら公園内売店

問い合わせ

グリーンウインズさとやま

☎ 0824-72-7211



●「秋まつり」期間中のイベント、花の開花情報は公園ホームページもしくは電話でお問い合わせください。

広告 お仏壇のお掃除されてますか?

職人がNHK・RCCで紹介されました



代表 山懸(ヤマガタ)

広島別院や出雲大社など全国の寺院で洗浄実績がございます。工法特許「泡洗浄」で仏壇の洗浄から、金箔の剥がれ、漆の傷、金具の錆びなど仏壇の傷みに応じた修復とお彩色まですべて20年の長期保証付き。

お仏壇のクリーニング ◎音羽屋

広島市佐伯区藤垂園 29-12 ☎ 082-231-3721

点検無料!
お気軽に電話
下さいね。

広告 「この社会あなたの税がいきている」

— インターネットで申告・納税できる —

e-Tax (国税電子申告・納税システム)

利用推進運動中

<http://www.e-tax.nta.go.jp>



めざします
よき経営者による 正しい納税で
企業の繁栄と社会への貢献

社団法人 庄原法人会

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)

TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)

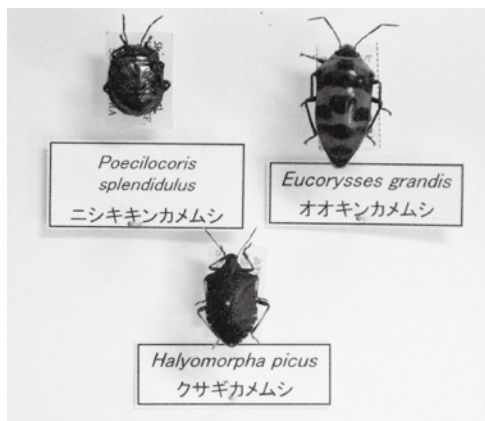
HP: <http://www.10.ocn.ne.jp/~shk/>



比和自然科学博物館

☎ 0824-85-3005

開館 9時～17時(年末年始休館)



カメムシ (ハットウジ)

カメムシといえば、
野外が暖かくなると
住居の窓の内側あた
りで這いまわり、秋口
になると室内のすき
間や衣類にもぐり込
み触れると悪臭を放
つ、この地方でハット
ウジと呼ばれるクサギ

カメムシが連想されます。また、アカスジカスミカメムシやトゲシラホシカメムシは、水稻にたかり黒斑米の原因を作る害虫であるため、子どもたちが好むカブトムシやクワガタのような、良いイメージを持たせてくれる虫ではないようです。

カメムシの仲間、ウンカ、ヨコバイ類、水生カメムシ類といわれるミズカマキリやアメンボ、セミ類やアワフキ類までわたる半翅目の虫で、クサギカメムシ、カスミカメムシなどのカメムシ類でも国内で350種以上が知られています。

比和自然科学博物館にもカメムシ目の虫は多く収蔵されています。その中には、よく見ると背の紋様が人の顔形に似たもの、白いハート型をしたもの、肩にトゲのあるものや尾部にハサミを有するものなどさまざまなものがあります。

最近この地方でも見かけられる、人目を引く鮮やかなオオキンカメムシ、アカスジキンカメムシ、帝釈産の珍しいニシキキンカメムシなども収蔵されています。



休日診療のご案内

9月・10月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

月 日	診療所名	電話番号
9月11日(日)	戸谷医院	0824-72-3131
18日(日)	毛利医院	0824-72-2863
19日(月)	林医院	0824-72-0121
23日(金)	戸谷医院	0824-72-3131
25日(日)	牧原医院	0824-72-0057
10月2日(日)	庄原赤十字病院	0824-72-3111
9日(日)	河本医院	0824-75-0311
10日(月)	笠間医院	0824-72-0535

●東城地域

月 日	診療所名	電話番号
9月11日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255
18日(日)	細川医院	08477-2-0054
19日(月)	東城病院	08477-2-2150
23日(金)	こぶしの里病院	08477-2-5255
25日(日)	日伝医院	08477-2-2180
10月2日(日)	東城病院	08477-2-2150
9日(日)	三上クリニック	08477-2-1151
10日(月)	瀬尾医院	08477-2-0023



市民ギャラリー「アート多愛夢」 情報BOX

★10月の展示案内★

第7回庄原絵手紙大賞作品展

8日(土)～10日(月)10時～17時

岡庄原市文化協会事務局 ☎ 0824-72-5453

商工観光課商工振興係 ☎ 0824-73-1178

※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はいりません。



食彩館しょうば

ゆめさくら

☎ 0824-75-4411

【9月～10月のイベント情報】

▶ゆめさくら講座

○かずら教室

ゆめさくら講座作品展～秋～ 出展作品
「白木の椅子づくり」

とき 9月21日(水)9時30分～12時

参加費 3,000円 定員10人

○癒やしの空間づくりkouza

ゆめさくら講座作品展～秋～出展作品
「苔玉～秋の山野草～」

とき 9月29日(木)

朝の部10時30分～12時30分

昼の部13時30分～15時30分

参加費 1,800円 定員各15人

○郷土料理教室

「秋の味覚～栗・いも・なば～」

とき 10月6日(木)10時～14時

参加費 1,500円 定員30人

▶展示・その他

○山人焼 山根茂人作品展～森の仲間たち～

とき 9月14日(水)～25日(日)

○ゆめさくら講座作品展～秋～

草木染め教室・かずら教室・癒やしの空間
づくりkouza教室の講師と受講生による
作品展

とき 10月1日(土)～10日(月)



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

出店者募集中!あなたのお店を開こう。

毎月20日が出店申込締め切りです。

申し込みは 交流サロンラッキー

☎ 0824-72-0075



と き 10月9日(日)10時～14時

ところ 中本町商店街周辺

(のぼりが目印)

詳しくはHPで<http://kunchi-ichi.main.jp>



人の動き

平成 23 年 7 月末日現在

[住民基本台帳登載人口]

人口 40,078人(前年比-753人)
男 19,064人(前年比-329人)
女 21,014人(前年比-424人)
世帯数 15,980世帯(前年比-92世帯)

[外国人登録人口]

○人口 315人(前年比-22人)



ふれあい市長室の日程

図情報政策課広報広聴係 ☎0824-73-1159

とき 10月8日(土)9時~12時

ところ 総領支所

※公務により実施できない場合もあります。

※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。



献血のご案内

図保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会 場	受付時間
9月 13日(火)	庄原赤十字病院	11時30分~15時
9月 20日(火) 21日(水)	東城支所	10時~11時30分 12時30分~15時



市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。

●税務課収納係 ☎0824-73-1145

●下水道課管理係 ☎0824-73-1175

●水道課庶務係 ☎0824-73-1197

[お詫びと訂正]

広報しょうばら8月号の8ページ、「(株)ジュオン等の事業に係る対応」の記事の中の「(2) 手続等」で、広島地方裁判所への届出債権額を誤って記述しました。次のとおり訂正するとともに、深くお詫びいたします。

(誤) 49,245円 (正) 749,245円

広報日記

今回、昨年秋にもお話を伺った土井さんに「その後どうですか?」とお聞きすると、「さとやま博に感謝しています」と返ってきました。参加者から元気もらっているという言葉通り、生き生きとした表情ではつらつとされていました。さとやま博は11月30日まで。まだまだ続きます。これからも皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思ひます。(奥)



犬・猫の引き取り

図環境政策課 ☎0824-72-1398

9月・10月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

	引き取り日	時 間	場 所
庄原 地域	9月14日・28日	9:00~9:30	市役所車庫
東城 地域	10月12日・26日	10:40~11:10	東城支所 正面駐車場

※東城地域の引き取りは、9月から東城支所正面駐車場でを行います。

※引き取り日は、毎月第2・第4水曜日です。

※飼い犬・猫の引き取りは有料です。



男女共同参画コーナー

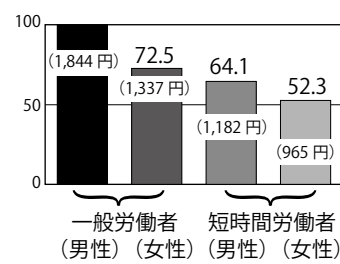
図女性児童課 ☎0824-73-1243

男女間の賃金格差は?

男女間の賃金格差は少しずつ縮小傾向にあるものの、女性一般労働者の給与額は、男性一般労働者の72.5%と依然として開きがあります。また、短時間労働者でも男性64.1%、女性52.3%と、女性の方が低くなっています。

働く女性の半数以上が、パートやバイトなどの短時間労働者であることから、多くの女性が非常に低い賃金で働いているといえます。

【(H22) 1 時間当たり平均所定内給与格差※(広島県)】 一般労働者※(男性)を 100 とした場合の給与水準



※所定内給与額

きまって支給する給与額のうち超過労働勤務以外のもの

※1 時間当たり平均所定内給与額

各年 6 月分として支給された平均所定内給与額を同月の所定内実労働時間数で除して算出

※一般労働者

短時間労働者以外の労働者

※短時間労働者

同一事業所の一般労働者より 1 日の所定労働時間が短い、または同じでも 1 週の所定労働日数が少ない労働者

配偶者・パートナーからの 暴力(DV)で悩んでいませんか

～あなたは“ひとり”じゃない～

■広島県西部こども家庭センター 女性相談課
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所)
☎082-254-0391

■広島県北部こども家庭センター 相談援助課
(配偶者暴力相談支援センター)
☎0824-63-5181(内線 2313)

■庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243



(平成23年8月8日撮影)

Vol.28

高原の吾妻山



標高1200mを超える吾妻山は、撮影スポットとしても魅力あるところです。写真は、8月8日はつばの日に、「グリーンラリー」という催しが行われたときの一場面です。快晴の空の下、参加者は木々や草花の名前を調べながらのハイキングを楽しんでいました。心も体もリフレッシュできる吾妻山にぜひ皆さんも出掛けてみてください。

主田 修三(中本町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

〒727-8501

庄原市中本町一丁目10番1号

庄原市情報政策課広報広聴係

☎0824-73-1159

メール koho@city.shobara.hiroshima.jp

さとやま文化都市 庄原工業団地



分譲中!



庄原工業団地のメリット

- 1 県内トップクラスの低価格
分譲単価 13,300 円/㎡→土地助成後の実質単価 9,975 円/㎡
- 2 中国地域の中心部に位置、理想のビジネス拠点
広島まで 90 分、松江まで 120 分、松山まで 180 分、大阪まで 240 分、松江尾道線で更にスピードアップ
- 3 魅力的な優遇制度
広島県および庄原市による各種優遇措置が充実
- 4 便利な交通アクセス
国道 432 号まで 0.5km、中国自動車道 庄原 IC まで 1.5km JR 備後庄原駅まで 3km

お問い合わせ先 庄原市 商工観光課 企業立地係

庄原工業団地

検索

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目 10-1 ☎0824-73-1178 E-mail:syokou-kigyuu@city.shobara.hiroshima.jp